

**令和元(2019)年度
第2回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議
議事要旨**

日 時：令和元(2019)年6月26日(金) 13時30分から
場 所：周南市役所4階 防災対策室

【会 議 次 第】

1 開 会

2 議 事

(1) (総合戦略) 推進施策に関する進捗状況の検証について

3 閉 会

◁ 配付資料 ▷

- ・ 第2回戦略会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 配席表
- ・ 目次と評価方法
- ・ 総合戦略に係る実施事業評価
- ・ 【参考】 指標に関する補足資料

第2回 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

- 日時 令和元(2019)年6月26日(水) 13時30分から
- 場所 周南市役所4階 防災対策室
- 出席者
- ・委員8名
河田 正樹、小松 佐穂子、中川 明子、三宅 克彦、
奈村 幸一郎、乃村 克利、石丸 清志、柴野 毅
 - ・事務局5名、主要事業担当者
政策推進部長 中村 和久、政策推進部次長 川口 洋司、
企画課長 中村 貴子、企画担当係長 中村 充孝、主任 中村 亮太、
主要事業担当者
- 資料
- ・会議次第のとおり

会 議 議 事 録

1 開 会

2 議事：(1) (総合戦略) 推進施策に関する進捗状況の検証について

- 会長 それでは規定により議長を務めさせていただきます。本日は、前回の残りの10の推進施策について全て評価を終えたいと思います。会議時間は2時間を目安としていますので、議事進行につきまして委員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。それでは、前回からの続きとなりますが、議題の周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進施策に関する進捗状況の検証を進めて参ります。前回、基本目標の2まで終わっていますので基本目標3 (1) 共創プロジェクトの推進から評価を行いたいと思います。まず事務局より説明をお願いします。
- ◇事務局 ～基本目標3の(1)について説明、担当課が補足説明～
- 会長 それでは委員の皆様からご意見のほどよろしくお願いします。
- 委員 申請数が平成28年度から平成30年度までに37件で、目標値が70件と差があると思いますが、平成30年度の申請数が15件と少ないのが原因と思いましたが、担当部署の方からご説明していただいた限りでは説明会などを実施してという道筋をつけていらっしゃるというのは分かったのですが、実際に昨年度やられて申請数が少ない原因を体感として何かあったら教えていただければと思います。
- ◇事務局 当初、この事業を組み立てる時に目標設定をしましたが、その際には団体へのヒアリングや研修会等を通してこのくらいの見込みを立てました。しかしながら、事業を設計していく上で団体同士が連携していくとか、新しい公共を創出していくとか、この事業を進めていく上でいろんな条件を付していく中で多少ハードル

が高くなりました。問い合わせ自体は3年で80件程度ありましたが、そこから申請に結びついたのが37件となっていますので、そういったところで若干申請に結びつくところまで至らなかったと考えています。

●委員 実際に動かしてみても、この70件というのがちょっと高すぎるというのを感じられたのではないかと思います。いかがですか。

◇事務局 率直に申し上げますと、目標値としては高かったというのは体感としてあります。

●委員 ありがとうございます。

○会長 ほかにご意見ありますか。

●委員 担当部の方からのご説明が非常に分かりやすかったと思います。私もまだ理解が進んでいませんが、アクションプランの共創プロジェクト事業が、本来なら前年度が30件の申請があつて40件から70件に増えるという意味合いですよね。25件の認定が目標で、結果として取組状況では今年度15件の申請で9件を採択し、28年度から3年間では9件の創業、8人の新規就労につながっているということで、具体的にどんなものだったのか、8人の新規就労が評価としてはどうなのか、最終的には基本目標として転出超過数をどうするかということになると思いますが、実際の効果とか担当部でどのように考えているのか、来期はどうしようというのがあれば、教えていただければと思います。

◇事務局 実際の新規就労につながっているものとしては、平成30年度は三丘でコミュニティカフェをやっている状態で、4名の市内の女性の雇用が生まれています。あと、ふれあいの森でネイルサロンを開業されて1名の就業が生まれているという状況です。それが基本目標に対してどうなのかというご質問だったと思いますが、この共創プロジェクト自身は地域づくり活動を推進していくための取組ですので、どうしても間接的になってしまうと思いますが、先程申し上げたように女性の就労就業につながったりというところがあると思います。このプロジェクトとしては、地域の魅力や価値が高まるような活動を進めていただくことで人が留まっていくとか、もしくは呼び込めるようなまちづくりを進めていきたい、将来にわたって住みたいと思える周南市の実現を図り、転出超過数を抑えていくという位置付けをさせていただいています。また、今後ですが、現在令和元年度までの事業で共創プロジェクトを進めています。次年度については未定ですが、地域の価値を高める取組、市民自らが主体的に地域課題に取り組んでいただく取組というのは大事だと考えていますので、今回のいろんな取組を踏まえて、次年度以降もそういう環境づくりを支援するという事に努めていきたいと考えています。

●委員 先程、委員も言われていましたが、申請数の目標が高かったという気がします。がよく頑張っておられるという気がしています。

○会長 ほかにございますか。今、申請数の話が出ましたが、目標が高かったということで、アフターケアなどをされる訳ですよね。例えば、申請の累計が100件いって

しまうとか、毎年25件採択をすると、アフターケアがなかなか行いづらいいのかなと思います。逆にこれぐらいのほうがあfterケアも行き届くのではないかと思います。いかがでしょうか。

◇事務局　ご指摘の通り、実際に事業を動かしてみても、実際に100件出ていたらどうなっていたのだろうかというところはあると思いますが、そういったアフターフォローも、現在、課や担当全体、もしくは庁内に関係するいろんな事業がありますので、庁内全体でアフターフォローをしていくという体制をとっています。

○会長　今ぐらいが適度という感じですか。

◇事務局　そうですね。多ければ多いなりの体制をとっていきと思いますが、今はそういった形でやらせていただいています。

○会長　ほかはよろしいですか。

○副会長　今年度までは新規に募集をされるのですか。来年度も継続して行うのか、今年度で新規募集は終了ですか。

◇事務局　来年度事業についてはまだ計画が立っていません。今年度は募集をしています。

○副会長　分かりました。ありがとうございます。

○会長　ほかよろしいですか。それでは、評価に移ります。事務局の評価はCということです。一番は計画が高すぎたことでの見直しという意味だと思いましたが、皆様いかがですか。Bぐらいでも悪くはないと思いますが、計画との乖離ですね。計画自体がちょっとという意味では、内容自体は悪くないということです。良くやられているということでBに上げますか。

●委員　（異議なし）

○会長　内容的にはBということですので、計画自体が100は高すぎるという判断ですけれども、B評価にさせていただきます。ほかにご意見ございますか。無ければ次の評価に移ります。続きまして（2）企業創業支援の推進です。よろしくお願ひします。

◇事務局　～基本目標3の（2）について説明、担当課が補足説明～

○会長　それでは委員の皆様ご意見をよろしくお願ひします。

●委員　農林漁業女子ステキ・スタイル応援事業のアクションプランにセミナー実施と書いてありますが、ここにはセミナー実施と書いてありませんが、そういったセミナーはありますか。

◇事務局　県で主催しているセミナーや講演会、講座はあります。市独自のセミナーは、単独では開催していませんが、県と一緒に取り組んでいます。

●委員　私、起業をしようとした時がありまして、起業セミナーに2回出ました。岩国市の商工会議所主催で参加者が50名ぐらいいまして、先生が中小企業診断士でした。50名のうち35名が女性で、起業しようとする女性が岩国市はすごく多く、活気がありました。また、岩国市は広島県が近いので、広島では通用しないけど岩

国では通用するかなとか、そういったことで、周南市でセミナーを受けた方は周南市で創業されるのかなと思うのですが、岩国は90パーセントぐらい岩国で創業します。周南市では、いろんなセミナーを受けて何人ぐらいがここで創業されますか。

◇事務局 市としてのセミナーは開催していませんので、実際何回開催して何名というお答えはできかねますが、農業に関してということですか。

●委員 主に農業に関してですが、漁業や農業です。

◇事務局 農林水産業に関するセミナーについては、農林課としては開催していません。

●委員 分かりました。

○会長 ほか何か。

●委員 2点お伺いします。クリエイティブ産業の進出で、この事業でクリエイターの方の冊子を作られたのを拝見させていただいて、非常に良いなと思いましたが、それを周南市の中では配っていますが、他県や近隣の市町村に配布される予定はありますか。

◇事務局 今ご指摘いただいたのは、このクリエイターポートフォリオというものです。大きく3つの目的で作りました。1つはクリエイターさん同士がつながっていただきたい。それからもう1つは市内の事業者を知っていただきたい。もう1つは言われたように県外の事業者を知っていただいて、何か新しいビジネスにつながってほしいということで作りました。市内については当然我々もおりますので企業訪問等の際には必ず持参しています。県外につきましては、東京に県の事務所がありますので、こちらと企業誘致の活動をさせていただいておりますが、一緒に回るときに宣伝や紹介をしています。

●委員 地道な活動をしていただけたらと思います。それからもう1点が、農林漁業女子の話を聞いていたら、県の事業にただ乗っかっているだけという印象を受けませんが、周南市から発信して、県の事業に乗せたという事例はありますか。

◇事務局 こちらの事業を活用して資金面で支援したことがあります。法人化とは少し離れますが、相談を受けまして、こういった補助金がありますよという紹介をして、県の補助金や市の上乗せ補助に結びつけたことはあります。

●委員 分かりました。先程委員がおっしゃった周南市主催でセミナーとかをすれば、この応援事業がお金だけの支援ではなくなると思いますので、ぜひ今後の検討の際には材料にさせていただけたらと思います。

○会長 ほかにご意見ございますか。それでは評価に移ります。事務局の評価はA評価です。クリエイティブ産業が前年までゼロだったのが、地道な努力の結果2件ということ。KPIもおおむね良好ですが、皆様ご意見いかがですか。Aでよろしいですか。

●委員 (異議なし)

○会長 順調に推移していますので、A評価にさせていただきます。ほかにご意見ございますか。

○副会長 クリエイターポートフォリオですが、データをホームページ上で閲覧することはできますか。紙媒体のみですか。

◇事務局 ホームページに掲載していると思いますが、確認が取れていないので、戻り次第確認をしておきます。

○会長 ほかご意見ありますか。無ければ次の評価に移ります。続きまして、(3)のUJIターンの促進です。よろしく申し上げます。

◇事務局 ～基本目標3の(3)について説明、担当課が補足説明～

○会長 それでは委員の皆様からご意見をいただきたいと思えます。

●委員 「KPIのUJIターン相談件数が平成29年度より減少したけれど、30年度は本格的に検討している人が多いフェアに絞って参加したため」と書かれていますが、具体的にはどういう基準で選ばれたのですか。集客人数とかにもよりますが、検討している人が多ければ多いほど移住をする確率も高まるのではないかと思います。具体的にフェアを絞った基準などがあれば教えてください。

◇事務局 フェアについては8年から9年ぐらい継続して行っています。昨年度は東京に絞って5会場行きました。その前年度は9会場、福岡や広島にも行きました。窓口で相談対応を行います。興味本位でパンフレットを取るだけの方などが多かったのが広島や福岡、大阪でした。そうしたことから、30年度につきましては東京に絞って行きました。窓口対応は市の職員2名体制で行います。1番大きいフェアでは、一度に1万人程度の方が大きい施設に来場されます。フェアの時間は7時間か8時間ぐらいで、本気の方は相談時間が30分から1時間かかりますので、対応できる人数というのにも限られています。また、行かなくてもパンフレットなどは県にお願いしたら設置していただけますので、そうしたことを含めて30年度は5会場に減らしました。そうしたことから、フェアでの相談件数が60名程度減っており、全体の件数としても少し下がったと分析をしています。

●委員 絞ったけれど相談内容は濃くなったので効果は落ちていないということですか。

◇事務局 そう考えていまして、今年度も同じ方針で参ろうと思っています。

○会長 ほかにご意見ございますか。個人的にはUJIが1番の鍵だと思っています。オフィシャルな形での支援になりますが、あとは口コミですね。この計画を立てる時に、東京で周南市の人が集まる居酒屋があるというのを聞きましたが、そこをネットワークにして、特にUターン、親も年だしというので帰ってくる方がいるといいなと個人的には思います。そうしたオフィシャルではないネットワークも活用しながらやっていただければ良いと思います。ほかよろしいですか。それでは評価に移ります。事務局の評価はA評価ですが、皆様いかがですか。KPI自体は大体満たされています。シティプロモーションが上がっていますが、これは全体を

拾った数字ですか。

◇事務局 30年度において実績値が非常に伸びているのは、フェイスブック、ツイッター、特設サイトの合計数字ですが、特にフェイスブックが非常に高い伸びを示していきまして、これが19,650に非常に大きな影響を与えています。

○会長 市全体ですから、周ニャン市は効果があったということですね。ほかよろしいですか。それを含めての評価は難しいですが、UJIターンはある程度やられていて、それが着々と結びついているということで、A評価でよろしいですか。

●委員 (異議なし)

○会長 A評価とさせていただきます。ほかにご意見ございますか。無ければ次の評価に移ります。続きまして(4)高等教育機関と連携したまちづくりの推進です。

◇事務局 ~基本目標3の(4)について説明、担当課が補足説明~

○会長 それでは、委員の皆様ご意見のほどよろしくお祈いします。

●委員 インターンシップ受入の事業所については、周南市として企業にお願いに歩かれていますのですか。我々の企業は、県の方が来られたような気がするのですが。

◇事務局 市が動くこともありますし、県で動かれる場合もあります。先日も、5月が県内就職促進月間ということで、県や市町も含めて企業にいろいろとお願いに回りますが、その時にもこの制度があることを周知させていただいています。必要に応じてインターンシップ協議会の職員も同行していただけますので、一緒に回ることもあります。また、商工会議所にも同行いただいたこともあります。いずれにしても、商工会議所、市町、それから県をあげてこの事業を推進しています。

●委員 確認ですが、KPIの高等教育機関を卒業し就職した学生の市内就職率は、高専と徳山大学の卒業生が分母で、市内に就職した方が分子ということで12パーセントということですか。

◇事務局 高専と徳大を卒業して就職した方のうち、市内に就職した方の割合が12.3パーセントでしたので、四捨五入して12パーセントと記載しています。

●委員 まさに化学メーカーがたくさんあって、高専は理系の学部もありますし、徳山大学が文系でだんだんスポーツと外国人の大学になってきた感じもあって、地元にもっと学生が入っていただけるような、そういう大学になるために市と協力する動きが必ずここにつながってくると思います。この間、東京理科大学の学長さんともお話ししましたが、現在、就職率が約30パーセントと言われておりまして、県から60パーセントにしてほしいと言われていているけど、それをするには企業が地域大学枠を作るしかないということと言われておりまして、強制はできないでしょうけど、そういう意識づけというのにも必要と思っています。

○会長 ほかに何かございますか。確認ですが、アクションプラン2番目の地元企業が求める人材の育成の授業コマ数は高専のことですか。

◇事務局　高専の授業です。当初は新しい学部、今言われたように化学メーカーがたくさんあって、そこで求められている例えばプラント工学を専門としたような学部を創設したい、そのためには市の支援をいただきたいということで、総合戦略を作るのであれば掲載してもらいたいということでこちらに載せましたが、情勢の変化とかもありまして、学生さんが減る中で新しい学部を作るというのは難しいとお聞きしています。その中で、昨年、文部科学省の事業で採択されたのがこの取組で、山口県東部地区における技術教育ハブ拠点の構築ということで、先生方がいろんな授業を提供されて学生はそれを横断的に取ることで自分の専門以外の知識を増やすというか、いろんな組み合わせで学べるという取組をされています。学校からは目標としてどんなコマ数が用意できるかというのがふさわしいのではないかとということで、授業のコマ数を目標とさせていただいています。補足があればお願いします。

○副会長　補足というか、おそらくこの62という数字は教員が必ず1人1コマ提供するという目標を立てて内容を作っていましたので、今のところ全教員が1コマずつ自分の持ちネタを学生に聞きに来ていいですよというコンテンツを提供している状況が続いています。ただ、実際は悲しいことに学生も自分の専門科目の学習ですら非常に時間を取られているという状況があって、そのプラスアルファでいろんなことを自主的に学びにいこうという学生はなかなか少ない状況です。学生もかなり過重労働だなと教員の側から見ても思いますので、あまりこちらも強くは言えないのですが、学校の中では残念ながら学科の拡充というのはなかなかハードルが高くて難しい状況ではありますが、地域のための基礎知識を増やす学習の機会というのは作っておこうというつもりで動いているところです。

○会長　地域のことを学ぶコマですか。

○副会長　例えば、文系の先生方は科学系の授業やりなさいと言っても難しいので、では郷土のことについて知らしようというコンテンツを提供できたりとか、例えば土木建築工学科ですとプラントのメンテナンスとして入っていくことが多いのですが、機械の学生もそういったところに行くことがありますので、安全のために力学的にはどういったところに気をつけないといけないか、特にプラントの中でという観点で話をしたりとか、本当に様々です。自分ができるネタを提供しますので、それをうまく組み合わせれば地域に関する知識を得ることができるという仕掛けを作っています。

○会長　徳山大学も、地域課題解決ということで、地域ゼミというものを西京銀行さんや市役所とも一緒にやらせていただいています。地域の課題解決と表には言っていますが、課題解決できていないです、うちの学生では。勉強させていただいている。地域の方に学ぶ場を提供していただいている。それで地域のことについて考えるということをしらせていただいています。それがアクションプランに

入っていてもおかしくないのですが、大きくCOCの中での事業として地域ゼミがあります。地域を学び、そして最終的にはこの地域を知り、さらに言うと地元から学生を取ってきて、それが地域のことをより学んで、そして地域の役に立つ人材になっていくというのがCOC事業の目的になっていますが、まだ完全ではありません。今後の動きで一気に加速する可能性があると思っていますので、引き続き見守っていただければと思います。ほかご意見いかがですか。それでは評価に移ります。事務局の評価はB評価ということですが、やはり就職率などが低いところですか。

◇事務局 C評価とさせていただきます。KPIが達成できていないというところですが、COC+もインターンシップも目標に達していないので、Cを付けています。

○会長 インターンシップは他のルートはないですか。うちは西京銀行さんに行っているものもありますが、そういうのは捕捉されていないのではないですか。

◇事務局 インターンシップ自体は学校が独自にやられているのもかなりありますので、全てのインターンシップがこれで把握できているかと言われると、それは疑問があります。ただ、県の推進事業では、去年は県全体で950人の学生を受け入れて、県内の企業でということだからかなり大きいのと、この制度を使うと学生は交通費の補助が若干出ますので、我々としては独自の活動もありますけど、こちらを全面的に協力してやっているという状況です。

○会長 いろいろ行かしていただけていますが、実際はもっと多いような、これは通さずに行っているのかなと思います。

○副会長 KPIとしてはこの推進事業を通してインターンシップに行かれた方の数字を拾っておられるからこうなるってことですよ。

◇事務局 ほかのこともそうですが、継続的に捕捉できる数字を設定しています。

○会長 少し数字が低いのでC評価ということですが、今の段階で県内就職も市内就職も頭打ちのような気がします。大きく変わらないと今のところでは難しいと思いますし、そもそも県内の学生が入ってこないで、市内の学生、県内の学生が入ってくればと思います。C評価ということですが、いかがですか。

●委員 (異議なし)

○会長 C評価とさせていただきます。ほかに意見ございますか。無ければ次の評価に移ります。続きましては基本目標4賑わいと活力を実感できるまちの(1)中心市街地を核とした魅力あるまちづくりの推進についてお願いします。

◇事務局 ~基本目標4の(1)について説明、担当課から補足説明~

○会長 それでは委員の皆様からご意見よろしくをお願いします。

●委員 「30年度についても、街なかの歩行者等の通行量は目標達成した」とありますが、確かに30年度は28,400人の目標に対して目標達成していますが、29年度の33,000人から見るとかなりの人数が減少しています。去年はこちらにいなかった

ので分かりませんが、この33,000人というものが何か特殊な要因があってこの人数だったのか、確かに去年より5,000人落ちているけれど、通行量としては目標を達成していると言えるのか、補足説明をお願いします。

◇事務局 平成29年度は、平成30年2月に徳山駅前賑わい交流施設が完成しまして、一時期に来場者が増えたということが要因かと思います。

●委員 基本的に通行量の数え方は、どこかの施設の入場者数を足したものですか。それとも、通行している方をカウントしての数字ですか。

◇事務局 街中にいくつかポイントを設けて、そこにカウントする人がいて、通行している人を数えています。施設の入入りではなくて、通りの通行者を数えています。

●委員 賑わい交流施設の開設時に増えた方が落ち着きを見せて、それでも今年度は目標を達成しているということですね。

◇事務局 駅ビルができたので28年度よりも増えています、29年度は一時的に影響が大きかったという説明だったと思います。

●委員 ありがとうございます。

○会長 天候とかによって左右されますか。確か調査は一日だけですよ。

◇事務局 平日と休日それぞれ一日です。決めて測りますので、雨が降ればその影響はあります。大体先が分かるので、基本的には雨の日は避けるようにしています。業務を委託しますが、小雨だったら計測することもあります、大雨が降りそうであれば日にちをずらす時もあるので、そこは年によって若干変わるかもしれません。

○会長 28年度に低いのが、確か天候の影響と伺った気がします。24,000というのが。

◇事務局 人を雇って計測しますので、急に明日やりますという訳にはいかない、天候が曇りなのか雨なのか分からない状況であれば実施してしまうということもあります。

○会長 毎年多少の誤差はありますが、トータルで上向きになっているかどうかというところで判断していただかないといけないと思います。ほか何か、お願いします。

●委員 空き店舗率は少ないほうが良いことだから、目標値よりも悪いと考えていいですか。前の年に比べたら4パーセントも減らすことができているので、昨年度やった何かが効いているのではないかと思います、何か具体的なものはありますか。

◇事務局 毎年10月の後半に、実際に開いているもしくは閉まっているということを目視で確認しています。昨年度につきましては、そこにカウントするお店が若干低くなっているというのは事実です。総数でいくと、12店舗減って、開いている店が4店舗増えていますので、率は上がったということになります。考え方ですが、これは県下統一で同じ調査を行ってまして、閉まっているお店であっても募集が出ていない場合はお店としてカウントをしないというルールがありますので、

その辺はもしかしたら影響しているのかもしれないです。要は入店者募集とかが出ている場合は貸す気があるという認識をしますが、ただ閉まっているだけだとお店なのか何なのかというのが判断できないというのがありますので、そこは分母に入っていません。そういった関係で分母が下がって、営業店舗数が増えたということで率は改善されているという状況です。

- 会長 12店舗減ったというのは、閉まって募集が出てないということですか。
- ◇事務局 それもありますし、昨年建物があつたところが、もう更地になっているところもありましたので、そういうのも総数減の要因と考えています。
- 会長 分母が12減って分子が4増えたということですね。ほかに、お願いします。
- 委員 一方、KPIの2番目の中心市街地等の新規出店数累計で見ると、29年度が47件、30年度が13件ということで大幅に減っているのか、前年度が多かったのか分かりませんが、要因は分析されたことがあるのかお聞きできればと思います。
- ◇事務局 この地域については昨年もお話しさせていただきましたが、新しく出るお店と閉店されるお店がそれぞれありますが、平成24年からの数字では年によって差はあるにしても、トータルとして開店の方が閉店よりは上回っているという状況です。これは10月時点の定点で見えていますので、若干その間の動きが捕捉できていないというのはありますけど、いずれにしても、こちらで商売するという方が年々多いというのは事実です。
- 委員 かなり数字が違う気がしますが、差し引きすると。119から132で13件ということですよ。72と119で47件。新規出店があつたのですか。
- ◇事務局 その数値ですが、先程、常に10月ぐらいを目途に数を精査していると言いましたが、平成29年においては駅前賑わい交流施設の完成後の数値をどうしても入れたかったので、その数値だけは平成30年3月の数字となっています。
- 委員 平均すると大体25件から30件ぐらいというイメージですよ。中心市街地に新規出店すると200万円貰えるという制度がありますけど、あれは市の制度ですか。
- ◇事務局 主要事業の1番目の黒丸の一つ目、テナントミックス推進事業というのを展開しています。中心市街地の一部のエリアになりますが、そちらのエリアに新規出店した場合の補助を出させていただいています。基本的には100万円ですが、状況によっては50万円が上限だったり、200万まで上限を引き上げるといったものもあります。
- 委員 有効に使われているという評価ですか。我々も当然金融機関として新規出店にあたって補助金プラス出店費用ということで申し込みがありますが、しっかり考えておられる方もいれば、補助金目当てで、また一個出店してすぐ辞めるのではないかという感じを受けるケースもありますので、採択のところもしっかり見ていただきたいという気がします。
- 委員 先程のフェリーターミナル再編事業のことでお聞きしますが、平成31年の事業

進捗率が100となっています。100ということは、目標は完成するという事だったのですか。

◇事務局 来年の6月に建物が出来るということで、今年度中の完成は難しいですが、当初の目標の設定は31年に出来ることとみていたところですが、設計に時間がかかりまして、遅れているという状況です。

●委員 フェリーターミナルができることと徳山のまちも活性化すると思います。早く完成していただきたいと思います。駅から歩道が繋がるとか聞くのですが、何か魅力があるのかなと思ひまして。

◇事務局 そういったご要望をいただくことがあります、今のところ計画としてはありません。

●委員 無いのですか。早く完成をお願いします。

○会長 若者のデートスポットが無いというところもあるかもしれません。海が見えるので、若者のデートスポットもできるのかなという気がします。ほかに何かご意見ございますか。それでは評価に移ります。事務局の評価はB評価ということですが、委員の皆様いかがですか。フェリーターミナルの進捗があれですし、大体達成はしているものの、もうちょっとというか、去年がAに近いBという形ですが、数字が平成30年3月ということではずいぶん話が変わってくるのでやっぱりBということですか。駅ビルができましたので、街中に人が来るような仕組みを今後継続的に考えていただくということで、もうちょっと頑張ってくださいと思います。B評価とさせていただきます。よろしいですか。

●委員 (異議なし)

○会長 ほかにご意見ございますか。無ければ次の評価に移ります。続きまして(2)観光交流の促進です。

◇事務局 ～基本目標4の(2)について説明、担当課から補足説明～

○会長 委員の皆様からご意見よろしくをお願いします。

●委員 ニューツーリズム推進事業が実施回数205回ということで、夜景ツアーのパンフレットとかいろいろ見させていただきましたが、かなり実施回数が伸びたということで、夜景ツアーでしたら夜なので関連してほかにもお金が落ちるのかなと思いますので、観光にとっては良いことだと思います。実際回数が増えていますが、ツーリズム協会とやっているということで、集客状況が悪ければ収益の面で市の持ち出しも多くなるのか、実際運用した状況はどうなのか教えていただければと思います。

◇事務局 工場夜景ツアーにつきましては、主にコンベンション協会が主催して企画、実施しています。実施回数は、コンベンション協会主催のクルーズが平成29年は28件、平成30年は89件と大幅に伸びています。これは旅行サイト「旅プラスワン」だったと思いますが、そこで販売を開始して、当然手数料は少し取られますが、

大幅に増加して全国から来られるという状況です。もちろん通過型でクルーズだけ楽しみに来られる方もいますが、中には宿泊されてセットで飲食もされる方もいると思いますが、そこまではまだ追えていなくて、今後の課題としてはクルーズとパッケージで飲食や宿泊もセットで売っていけるようになればという話をしています。

●委員 一般の利用者からしても良いツアーというか、飲食があればもっと人が増えるのではないかと思います。ぜひご検討いただければと思います。

○会長 クルーズの中では飲食は無いのですか。

◇事務局 現在、コンベンション協会で用意している船舶は、10人乗りの漁船です。座る所とかは整備して特段乗り心地が悪いとかの苦情はありませんが、それでも皆さん楽しんで帰っています。飲食は提供していませんが、簡単なものであればそれぞれ持ち込みで食べられているかもしれません。現在、もう少しグレードの高い船舶を新しく準備して、少し値段は張るのですが、7月からそういったものもツアーとして組み込んだり、夜景が見えるレストランとのタクシーツアーを組んでみたり、金曜日は大津島巡航のフェリーを使ってビアクルーズということで、周南市は11大工場夜景の1つですので、ほかの都市からいろんな食べ物を寄せ集めて、それも楽しんでもらうクルーズを準備しています。

○会長 屋形船みたいなのは動かすのが大変ですか。免許が必要ですか。

◇事務局 屋形船は分かりませんが、通常の船舶を持たれている方であれば、国交省に不定期航路の届を出せばできるということになっているようです。

○会長 降りて食事の良いのですが、船の中であればそこでお金を落とせますので、それも検討していただけたらと思います。

●委員 先程の6月29日は、コンベンションで6月29日と7月26日と3回ぐらい行うものですか。

◇事務局 そうです。金曜日なので28日です。3回実施します。

●委員 7月26日金曜日にお客様と一緒に行こうということで申し込みましたが、食事が無い、夜なので、気持ちいいところでお酒も飲みたいということになれば、何かつまみたいということで、その手配がとっても大変で、そこまでひっくるめて手配をしていただけたら人気も高まるのではないかと思います。

◇事務局 初めての試みですので、いろいろご意見をいただくとしますので、その辺も含めて継続してできればと思います。

○会長 ほかにご意見ありますか。

○副会長 アクションプランのデジタルサイネージなどを活用した情報発信というのは、具体的にどのような事業を指しているのかを伺ってもよろしいですか。

◇事務局 動物園内に設置しています電子掲示板、その中でQRコード等表示してSNSへリンクをかけていくという形の情報発信です。

- 副会長 動物園の中限定ということで、市のほかのところで市の情報を発信しているという訳ではないですね。
- ◇事務局 現段階では、園内の施設を使ってやっています。
- 副会長 ありがとうございます。
- 会長 ほかにご意見ございますか。動物園の入園者数ですが、今年の豪雨の影響はありましたか。要は、下松・光は電車が止まってしまったので、子どもが例えば電車で来るなど、電車で来ることはないかな。車かな。影響はありましたか。
- ◇事務局 実際の数については掴んでいませんが、今年の夏は「データ博士の恐怖のキモアニ研究所」というちょっと気持ち悪い動物の企画展を行いました。かなり好評をいただいて、西部からはかなり高校生達も来ていてくれていましたが、東部からは止まっていたので本来であればそのあたりの数があったのではないかと判断しています。
- 会長 企画展に来るのは高校生ですか。
- ◇事務局 そうです。全ての小学生にはチラシを配っていますが、チラシを受け取られた保護者がSNSにあげられて、ツイッターとかに絡んで来るのは中学生から高校生ぐらいになりますので、こういう趣向の企画展をやり始めてからは、夏の企画展には高校生等が沢山来ていただけるようになったと考えています。
- 会長 ゴキブリとか、いろいろ攻めていますからね。小学生はついて来れないけど、逆に高校生とか大きなお友達が来る訳ですね。
- ◇事務局 直接情報を届けるのは難しいのですが、SNSが予想以上に情報源になっていて、今後ともSNSを活用した情報発信をしていくことにより、子ども達だけではない大人の方にも来ていただけるような情報提供ができると考えています。
- 会長 ほかにご質問ご意見ありますか。それでは評価に移ります。事務局の評価はB評価です。動物園が伸び悩んでいるというところですか。夜景クルーズは飲食を取り入れるなど、もう少し改善の余地があるというか、飲食についてはかなり強い要望がありましたので、ぜひ検討をお願いします。いっぺんにお金が落ちるというか、飲食を含めたクルーズのニーズがあるということはお伝えください。ということで、B評価でいかがですか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 それではB評価とさせていただきます。ほかにご意見ございますか。無ければ次の評価に移ります。(3) コンベンションシティの推進です。
- ◇事務局 ～基本目標4の(3)について説明～
- 会長 それでは委員の皆様からご意見をお願いします。
- 委員 誘致できたコンベンションの数は去年に比べて増減はありますか。
- ◇事務局 誘致できたコンベンションですか。
- 委員 スポーツイベントとかを誘致するものでしたよね。それによってお客さんが来

てくれて、お金を落としてもらうという内容ですよね。毎年一定数のコンベンションを呼ぶことはできているのかという質問です。

◇事務局 市ではスポーツ系のコンベンション、ビジネス系、学会系のコンベンションということで幅広く誘致の開催支援を行わせていただいています。周南市で開催されるコンベンションの6割から7割はスポーツ系です。スポーツ系については、各市内の競技団体がいろいろ活動されていらっしゃるしまして、市も毎年体育協会の理事会等に出席させていただいて、市の開催支援についてご説明をさせていただいています。各競技団体が誘致に取り組んで頂いてまして、毎年のように周南市内で開催される大会もたくさんありますし、新規で開催される大会も毎年あります。その他、ビジネス系や学会系につきましては、周南市と周南観光コンベンション協会が主催者に営業に参りまして、ご要望をお聞きした上で、開催についてお問い合わせの対応をさせていただいています。数は多くありませんが、営業に行きまして、なかなか次の年にすぐという訳にはいきませんが、2年後、3年後ということで2件、3件と毎年新規で開催していただいている案件があります。

●委員 活動がちゃんと実を結んでいるというのがよく分かりました。

●委員 アクションプランで、コンベンションによる延べ宿泊者数という指標がありますが、このカウントの方法と、宿泊施設が一杯で泊まれないという意見もありますが、その辺の状況はいかがですか。プラスアルファ何か宿泊者数を増やす動きがありますか。駅前の整備でホテルを誘致しようという話は聞いていますが、市が直接ということではないでしょうけれど、多少後押しができるような活動に取り組まれるのかということをお聞きしたいのですが。

◇事務局 コンベンションによる延べ宿泊者数のカウントの方法ですが、周南市が開催支援として行っておりますコンベンションの開催補助金というのがありますが、これは各大会の市内での延べ宿泊者数に応じて補助しています。申請があった団体につきましては、補助金のお支払いの際に、実際の延べ宿泊者数を報告していただいていますので、その延べ人数ということです。もう1点、宿泊のキャパですが、現在、周南市での宿泊につきましては、市全体で2,300人程度の収容ということで把握しています。ただ、ご存知のように周南市はコンビナート企業が多く立地してまして、その定期修繕で多くの方が市外から入って来られます。そういった時期につきましては、なかなか宿泊を確保することが難しいという声はお聞きしていますので、こちらの対策としては、各コンビナート企業様にご協力いただいて、次年度の定期修繕の日程、どの程度の方がどの時期に入って来られるのかというのを教えていただきまして、それを営業の際に各団体に、この時期はこういった事情があるのでもう少し確保しやすいとか、そういった形でご案内をさせていただいています。

- 委員 ありがとうございます。
- 会長 ホテルが足りないという話の一方で、廃業していくホテルもありますので、大規模修繕とそうじゃない時の差の問題なのかなと思います。常に一定数稼働させるのも難しいのかなという気がします。
- 委員 5,000から6,000円のビジネスホテル系は泊まれるけど、イベントを行ったり、割と大きめのものは維持が難しいと言っていました。
- 会長 それもありますね。ほかご意見ございますか。
- 副会長 平成31年度の年間観光客数の目標値が180万人、最終目標が180万人で、昨年度までの達成人数が165万人で残り15万人を埋めるためのすごく良いアイデアとかをお持ちであれば教えていただけたらと思います。
- ◇事務局 31年度で180万とかなりハードルが高い数字になっていますが、これはまちづくり総合計画の前期基本計画に合わせて総合戦略でも180万人としているところで、プラス15万人ということですが、先程も補足説明の中で触れましたが、現在、徳山動物園のリニューアルが進んでいます。天候にも左右されるとは思いますが、多くの方が来られるだろうということと、今まで山口県はどうしても西部に目を向けるというか、取組自体も西部がいろんなことをやられていたというのがありますが、東部の活性化が必要ということで、今年度は岩国から周南までの観光キャンペーンを重点的に行うという年になっています。新しい取組を仕掛けていこうということで、周南・下松・光の3市の連携事業や特に広島方面からの観光誘客を進めていこうということも行っています。周南工場夜景も1回のツアーで少ないときは2名の時とかもありますが、いろんなメニューを揃えて、また、工場夜景ガイドも夏に向けて育成していこうということで今募集をしています。そういったところで何とか15万の底上げをしていきたいと思っています。
- 会長 ほかにご意見は。
- 委員 観光客数の関連ですが、ある会合の時にその団体が全国大会を行い、山口県の観光をPRするためのビデオを見させていただきましたが、周南で出てきたのが工場夜景だけでした。非常に寂しい思いがしたので、なかなか無いとは思いますが、工場夜景だったらそこをもっと深掘りするとか、ほかに何かを見つけないとなかなか15万が埋まらないし、もっとあるんじゃないかと思いつながら、動物園も出てきませんでした。岩国は錦帯橋とかベースとかいろいろ出てきましたけど、それよりちょっと少なかったという気がしたので、工場夜景、屋形船もいいと思いますが、もうちょっと大型のルミナス神戸のようなクルーズ船みたいなものがあつたらもっと来るのかなと思います。お金がいくらかかるか分かりませんが、ご検討いただければと思います。
- ◇事務局 工場夜景は独自性のあるコンテンツなので、当然やっていかなければいけないと思っています。あとは、どうしても景勝地とかがありませんので、独自性のあ

る取組をしていかなければなかなか観光交流の人口は拡大しないと思っています。周南市の場合は元気な中山間地域がたくさんありますので、先日も200名ぐらいの修学旅行の受入を民泊含めて行うなど、いろんな形でやっています。ですので、工場夜景のツアーとか、酒蔵をめぐるタク酒一とか、周南ならではのものがありますので、いかにメニューを増やしていくかということに今から力を注いでいって、県にも少しでも取り上げていただけるようにやってきたいと思っています。

●委員 中山間地域とか、若いご夫婦やお子さんには体験型が結構良いのかなと思います。僕らも若い時には何かできるのか探したりしていたので、ぜひ先程の取組を続けてください。

○副会長 外国人観光客のインバウンド対策ということで、最近は結構コアな旅をされる方が徐々に増えているという傾向もあるかと思いますが、そういった方は観光地巡りではなくて日本のありのままの風景を楽しみたいというご要望もあるようにいろいろ記事で読みます。その時に、例えば周南に景勝地が何もないとおっしゃいましたが、そこが逆に良いところで、何もないからこそ来ていただいて、例えば田舎をしっかりと体験していただくというような、外国人向けのメニューも1つあるかと思います。都会に行くと民泊などたくさん宿泊先があって、エアビーアンドビーのサイトもたくさん泊まれる場所が出てきますが、山口を探すとほとんどありません。ここが空白地帯ということは、逆に今から力を入れていくべきところかもしれないなとも思いますので、大きな組織ありきではなくて、小さなところもピックアップしていただくような視点もお考えいただくと良いかと思いましたのでご検討ください。

○会長 ベトナム語の通訳だったら多少は用意できると思いますので、その時はお声掛けください。ほかご意見よろしいですか。それでは評価に移ります。事務局の評価はBということですが、委員の皆様いかがですか。180万人に向けて足りないものの、着々と頑張っておられ、コンベンションの期待は大きいということです。特に夜景観光はすごく期待はしていて、もっともっとやりようがあるからぜひ色々頑張ってもらいたいという期待を込めて、B評価ということでよろしいですか。

●委員 (異議なし)

○会長 それではB評価とさせていただきます。ほかにご意見ございますか。無ければ次の評価に移ります。続きまして基本目標5地域資源を活用し快適に暮らすことができるまち(1)電解コンビナートの資源を活かしたまちづくりの推進です。

◇事務局 ～基本目標5の(1)について説明、担当課から補足説明～

○会長 それでは委員の皆様からご意見をお願いします。

●委員 地域エネルギー導入促進事業で、来年3に増えているということは、あと1つどこか施設に入れようとしていると思いますが、具体的にどこというのは決まっていますか。

◇事務局 現段階で決まったものではありませんが、今のところ予定があるのが、再開発が進んでいますので、そちらの再開発ビルで利用していただけるのではないかと
いうのと、あとは市役所の前にあります、現在、臨時駐車場になっていますが、
そちらに合同庁舎を誘致する計画がありますので、コンビナート電力を活用して
いただけるのではないかとということで、その2点が今お話できる計画です。

●委員 市役所とか駅とか公共施設に近いものなので、もしかしたらそのうち一般の企
業にも拡大していくのかなと思いましたが、まずは身近なところからと理解しま
した。

○会長 例えば、保健センターに引っ張るとするのは難しいのですか。コストが逆にか
かるとか。

◇事務局 特定供給事業というのは、中国電力の電線を利用する事業ではなくて、自営線
を引っ張らなければならなくて、それに多大な費用がかかり、電力の使用量があ
る程度ないと事業の効果として薄くなりますので、その辺を加味して施設は十分
選んで事業を展開していく必要があると思います。

○会長 その度に増やすというか、ここの下を通ってきていて、そのルート上にあれば
簡単ということですか。

◇事務局 特定供給というのが、株式会社トクヤマと市との間で組合を作って、地域のエ
ネルギーの利活用ということで進めています。組合の趣旨にあったものでない
となかなか入れてはいけないということで、本来は中心市街地の活性化という
のが主な趣旨ですので、再開発も1つの民間と捉えて、そうしたところでたくさ
ん中心市街地に企業の誘致がされればということです。公共施設をどんどん増
やしていくという事業ではありません。

○会長 ほかに何かございますか。水素は先日伺いましたので分かりますが、よろしい
ですか。では評価に移りますが、事務局の仮評価はB評価です。水素は厳しい評
価でしたが、一方、電解コンビナートの地域エネルギーの導入の促進で、実績が
着々と出ていますが、いかがですか。

●委員 (異議なし)

○会長 それではB評価とさせていただきます。ほかにご意見ございますか。無ければ
次の評価に移ります。続きまして(2)コンパクトプラスネットワークの推進で
す。よろしくをお願いします。

◇事務局 ～基本目標5の(2)について説明、担当課から補足説明～

○会長 それでは委員の皆様から意見ををお願いします。

●委員 公共交通ネットワーク形成事業で、路線バスやコミュニティ交通の年間利用者
数がありますが、コミュニティ交通の中には、3月からのちょい乗りバスも含ま
れますか。

◇事務局 ちょい乗り100円バスの利用者数も含んだ数字です。

- 委員 ちよい乗りバスの利用状況はどのように把握されていますか。
- ◇事務局 昨年の12月22日に本格運行を開始していきまして、その前に実証運行という形で一昨年、賑わい交流施設のオープンと合わせて2月3日から9月30日まで実施しました。その時の1便あたりの利用者数は7.1人で、今回本格運行ということで、現時点での1便あたりの利用者数は7.7人で実証運行時よりも1便あたりの利用は伸びてきています。さらに、利用者数を月ごとの集計で比較していくと、右上がりに上がって来ていますので、今後、更なる利用促進をすることで更なる利用が見込めると考えています。
- 委員 これが目論見として当たってきている、利用客が増えてくるということになれば、都市機能誘導区域内にちよい乗りバスを拡大するような検討ができるのかとか、防長が民間でやっておられる訳ですから、そことの絡みも難しいとは思いますが、この域内に住む高齢の方がそれで移動できるとか、誘導施設に行くために必要な交通手段というのがそういうもので確保できればと思いますので、検討ができればよろしくをお願いします。
- ◇事務局 ちよい乗り100円バスについては、美術博物館・徳山動物園と駅前をほぼ直線で結ぶ巡回運行をしていて、公共交通、JR等で来られた方が駅から最短でそういった観光施設に行けるというところで、回遊性の向上や賑わいの創出を図るという趣旨のもとに実施をしています。本格運行が始まったばかりですので、そのあたりの成果等も検証しながら、更に路線バスとのバランスも図りながら更なる発展ができるか検討したいと考えます。
- 会長 ほかにご意見ございますか。
- 委員 アクションプランの1番最初の集約型まちづくり推進事業で、去年のものを見ると30年度中に公表予定の計画で具体的な指標を定めるということで、今回、この誘導施設の数に掲載されていますが、32の既存の数でやりました、たまたまでは無いけど計画通り賑わい交流施設が出来て2つオーバーしました、これが何か意味があるのかと思いますが、いかがですか。
- ◇事務局 その上にあるKPI、中心市街地の居住人口とどう整合を取るかというのを我々事務局方で悩みまして、30年度に公表したのは先程申し上げましたが居住促進区域の部分でした。居住促進区域の人口密度を高めていくような、あるいは維持するようなものも考えたのですが、そうするとなかなかこの中心市街地の居住人口とつながらないというところで、まずは都市機能誘導区域内に立地する誘導施設ということで決めさせていただいたというのが理由です。つまり、まずは都市機能誘導区域の中に生活サービス施設を誘導して、中心市街地の魅力を高めていく。更にネットワークの取組と合わせながら居住促進区域の人口密度を高めていくということですので。居住促進区域の人口密度を高めていく取組は今から取り組まないといけません、現在検討しているところです。また次の計画等できちんとし

た目標を立てていこうと考えています。

- 委員 分かりましたけど、あまり意味がないと思います。
- 会長 実際にこの地域にマンションが多く建って、人口が増えているということで、市として何ができるかというところだと思いますが、便利だからマンションが建ってマンションが売れる、その便利だからというのをどう表すかというところだという気がします。
- 委員 32は減らさない。やめさせない。
- ◇事務局 間違いなく人口は右肩下がりがトレンドになっていくので、少なくともこの公表時点の32は絶対減らさないということです。減らすようなことになると何か強力な施策を打っていかないといけないと考えています。
- 会長 ほかにご意見ございますか。それでは評価に移ります。事務局の評価はA評価ですが、皆様いかがですか。特に路線バスやコミュニティ交通が順調に増えています。去年は数字の信頼性という話がありましたが、それなりに増えていると思います。今年はコミュニティバスを足したということで、内訳的にはどんなものですか。
- ◇事務局 1年間のある日を基準にする中での指標ですので、年によって増減は出てきます。ただ、路線バスの利用者については減少傾向にあるというところの全国的な流れの中で見れば、周南においてはやや下げ止まりに近いような状況になってきているというところと、ちょい乗りの人数は把握していませんが、そういった部分も加味された上で、上がってきていると見ています。
- 会長 去年は入れてなくて今年は入れたということなので、その部分は純増です。
- 委員 そこで10万も増えているとは思えません。
- 会長 思えないですね。着実に増えているということで、A評価でよろしいですか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 ではA評価とさせていただきます。ほかにご意見ございますか。無ければ次の評価に移りますが、小松委員が次の用務がありますので、ここで退席となります。では、最後の(3)中山間地域の持続可能な生活圏づくりについて、よろしくお願ひします。
- ◇事務局 ～基本目標5の(3)について説明、担当課から補足説明～
- 会長 それでは委員の皆様からご意見いかがですか。
- 委員 新たな拠点づくりですが、目標値が3になっているということは、現在2件検討中で、完成も令和2年度ということなので、検討はしているけど達成はできないという認識でよいかというのが1点と、先程のコンパクトのところから出てきましたが、中山間では公共交通ネットワークを利用した人は増えたのか減ったのか、指標で取っているのかというところをお伺いできたらと思います。
- ◇事務局 拠点についてお答えします。目標値として平成31年度に3施設と掲げています

が、委員おっしゃるとおり、和田地区については地域の皆さんとの議論、検討がまだまだかかりそうというところで、実際の整備には至れないと捉えています。長穂地区につきましては、整備が始まったということで、32年度に完成するのですが、着手したということで整備が進んだと捉えています。中山間地域の公共交通の利用状況ですが、中山間地域ではコミュニティ交通ということで、現在、大津島を含めて5箇所を実施しています。その中で、29年に八代地区と熊毛の街なかまでを結ぶコミュニティ交通をバス路線に変わり運行していますが、利用状況から言うと、その当時バスに乗っていた利用者の人数よりも、コミュニティ交通を導入した人数のほうが若干ではありますが増えてきていますので、そういった部分では効果があったと考えています。

○会長　ほかにご意見ありますか。夢プランは中山間の部分だけですか。今回、今宿が入りますが、それは除いた数でカウントしていくということですか。

◇事務局　中山間地域に限定して、プランに基づくハード事業の実施件数を掲げています。つまり今宿地区については別という形です。

○会長　分かりました。ほかにございますか。それでは評価に移ります。事務局の評価はA評価となっていますが、いかがですか。目標値から言えばそうですが、去年は副会長が中山間地域に転入した人がどれくらいかというご質問をされていますが、その辺のところに寄与しているかというところですが、いかがですか。中山間地域のデータが無いと言われましたが、それは捕捉できませんか。

◇事務局　転入者については、中山間地域に入った人をカウントするのは難しい状況ですが、中山間地域にどれぐらいの人口がいて、それがどう推移しているかというのは継続的に捉えているところです。

○会長　これらのことが中山間地域の人口減を食い止めることに寄与しているかどうかということになってきますので、そのためのインフラとかですよ。それが評価のポイントになってくるので、できればそういう指標も見せていただければと思います。自然減はあると思いますし、増えるということはなかなか難しいのですが、これらの取り組みのおかげで中山間地域の人口減がある程度食い止められているということが分かれば評価をしやすいのですが、いかがですか。去年はそれで結局Bにしたという感じです。これ自体は良いのですが、そういうところの直接的な関わりというか、そこが少し見せていただきたいなっているのがありますので、今年Bにして、来年それを持ってきてくださいということにしておきますか。

●委員　（異議なし）

○会長　それではB評価とさせていただきます。ほかにご意見ございますか。以上で評価は終了となります。これで全ての推進施策の評価・検証が終わりましたが、全体を通してご意見があればお願いします。

●委員 (意見なし)

○会長 ご意見が無ければ、以上で本日の議事は全て終了しました。前回と本日の会議でいただいた意見については、事務局が整理し、後日皆様にお配りしますので、発言内容などに齟齬があった場合は事務局にお知らせください。最終的に議事録と合わせて私と副会長が責任を持って内容を確認したいと思いますが、ご一任頂けますでしょうか。

●委員 (異議なし)

○会長 ありがとうございます。ほかにご意見ございますか。無ければ進行を事務局にお返しします。

3 閉会

◇事務局 ありがとうございます。最後に政策推進部長の中村より一言ご挨拶を申し上げます。

◇政策推進部長 まずもって、委員の皆様には大変お疲れ様でした。2日間にわたりこうしたご審議をいただき、私どももいろいろな意見等を参考にさせていただきたいと思います。また、河田会長におかれましては、限られた時間ではありましたが、円滑に会議を進行いただきまして、誠にありがとうございました。議事等の内容につきましては、先程もありましたが、事務局で整理し、河田会長と副会長へ目を通していただきまして公表させていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。現行の総合戦略は今年度までの取組となりますが、皆様からのご意見やご提言をいただきまして、私どももKPIの指標の出し方や事業の進捗の方向は、市民の皆様にも一つで分かる、この事業はどのように効果が上がっている、こうしたことを次の計画へ反映させていただきまして、しっかりとまちづくりに活かして参りたいと思いますので、引き続きよろしくお願ひします。本日は誠にありがとうございました。

◇事務局 それでは、以上をもちまして令和元年度第2回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議を終了いたします。委員の皆様、長時間お疲れ様でした。ありがとうございました。